



令和2年11月17日
～美ら島の未来を拓く～
沖縄総合事務局

「データを活用したバス利用の促進に関する実証調査」の実施

～「バスなび沖縄」をもっと便利に、「のりもの NAVI Okinawa」へ～

沖縄県では自動車保有台数が年々増加し、マイカーが主な移動手段となり、バスをはじめとする公共交通の利用率が低く、慢性的な交通渋滞が発生しています。また、マイカー利用はバスの約2.5倍の二酸化炭素を排出するため※、地球温暖化対策の観点からも公共交通利用促進が急務です。

現状を改善するため、バスの定時性向上やモノレールとの乗継利便性向上等に加え、利用者にとって路線や乗換等がよりわかりやすく便利になるよう、「のりもの NAVI Okinawa（旧「バスなび沖縄」）」の検索性・視認性・操作性等を向上し、バス利用を促進する必要があります。

沖縄総合事務局では「データを活用したバス利用の促進に関する実証調査」を以下内容で実施し、バス利用者の利便性向上・利用環境改善を図ります。（受注者：一般社団法人 沖縄しまたて協会）

※ 環境：運輸部門における二酸化炭素排出量「2. 輸送量当たりの二酸化炭素の排出量」 - 国土交通省

https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/environment/sosei_environment_tk_000007.html

実証調査の内容

路線バスのリアルタイム運行情報等を提供している「バスなび沖縄」の運営主体である沖縄ICカード株式会社では、12月1日（火）から「バスなび沖縄」を「のりもの NAVI Okinawa」に改称し、モノレールを含めた経路検索が可能となる機能の追加を行うほか、「OKICA」の利用が可能なタクシー事業者との情報提供を行います。
(別紙①参照：沖縄ICカード株式会社提供資料)

沖縄総合事務局では、前述の取組と連携し、「のりもの NAVI Okinawa（旧「バスなび沖縄」）」の路線検索機能をはじめ、利便性向上を図るため、利用実態調査（利用状況データの分析、利用者アンケート）を行い、問題点を整理して路線検索機能強化等の改修（沖縄ICカード株式会社が実施）を行い、運用を実証します。また、運用後に再度の利用者アンケートを実施し、課題整理を行い、今後の利便性向上につなげます。

(別紙②参照)

令和3年春には、本実証調査の成果等を踏まえ、沖縄ICカード株式会社が「のりもの NAVI Okinawa」のリニューアル版を公開し、更なる利便性向上へ取り組む予定です。

・利用実態調査（利用者アンケート）

令和2年12月1日（火）から12月31日（木）まで

「のりもの NAVI Okinawa」（旧「バスなび沖縄」）

PC・スマート版、シンプル版サイトで募集します。ぜひ積極的な御協力をお願いいたします。

PC・スマート版 <https://www.busnavi-okinawa.com/top>

シンプル版 <https://www.busnavi-okinawa.com/mobile>

・運用後の利用者アンケート

令和3年2月頃に改修前アンケートと同様、「のりもの NAVI Okinawa」各サイトで募集予定です。

【問い合わせ先】

内閣府沖縄総合事務局運輸部企画室 當眞・野原

T E L : 098-866-1812（直通）

F A X : 098-860-2369

E-mail : unyu-kikaku.j2a★ogb.caog.jp

※「★」を「@」に置き換えてください

OKICA MaaS

~モビリティの・明日を・明るく・素敵に~

次世代システム開発着手から1年。コロナショックによる影響は決して小さくありませんが、「初志貫徹」、利用者満足度の向上と公共交通利用促進のために、2020年12月からOKICAは新たな挑戦をはじめます。**OKICA MaaSプロジェクト**を始動します！

＜第1弾：2020年12月1日、「バスなび沖縄」が変わります。



画像はイメージです。

公共交通の利用促進・定時運行性確保に寄与するために生まれた沖縄県民のための交通系ICカード「OKICA」。乗降者時の決済をスムーズにして渋滞緩和に貢献する…おかげさまで42万枚の累計発行枚数に達し、少なからず社会のお役に立つことができはじめております。

今回「バスなび沖縄」に注目。その機能UPを目指すことで、より便利で快適な沖縄での公共交通移動をサポートすることになればと考えております。

複合乗換検索=MaaSレベル1の実現 (路線バスとモノレールの複合乗り換え案内)

公共交通・OKICA利用者の皆様の更なる利便性向上を目指し、OKICA MaaSプロジェクトは、今後も多角的に取り組んで参ります。

OKICA誕生から6年。OKICAは、新たなチャレンジを開始します
～OKICAが変われば、OKINAWAが変わる。～



①データを活用したバス利用の促進に関する実証調査(令和2年度)との連携について



「データを活用したバス利用の促進に関する実証調査」について

※一部沖縄ICカード社の自主調査を含みます

内閣府沖縄総合事務局実証調査

内閣府沖縄総合事務局様のご協力のもと、県内で唯一、複数事業者による路線バスのリアルタイム運行情報を提供しているサイトの在り方について、活用状況や利用者様のお声を収集・分析いただきます。
改善方策を検討・整理いただき、調査を受けて沖縄ICカード社にて適時サイトの利便性向上（機能改修）につなげて参ります。

改修前アンケート：令和2年12月1日（木）から12月31日（木）

改修後アンケート：令和3年2月頃

※のりものNAVI Okinawa（旧バスなび沖縄）サイトに専用バナーを掲出させていただきます。

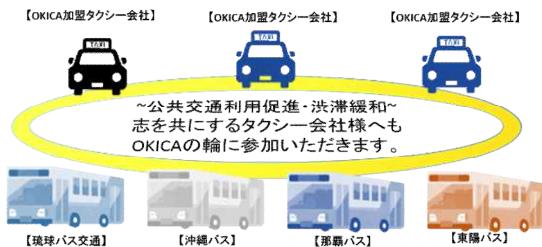
バスなび沖縄
沖縄本島路線バス総合案内システム

2020年12月より「バスなび沖縄」は「のりものNAVI Okinawa」にTOPページのみ変更します。

②マルチ乗換案内（公共交通としてのタクシー）の自主調査について

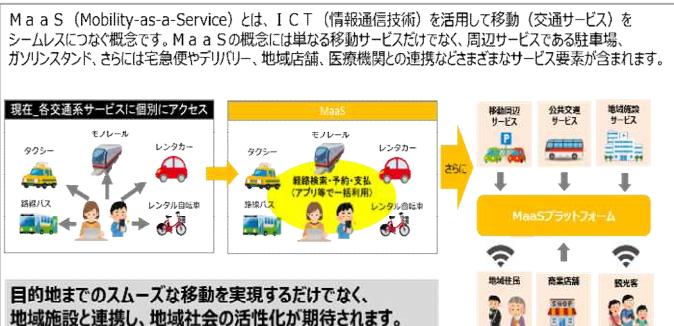
路線バス・モノレールの複合経路検索に加え、OKICAの取り組みにご賛同いただけるタクシー会社様の表示を自主調査として実施いたします。交通渋滞の緩和、高齢者免許返納への対応など社会課題の解決に向けて、移動情報支援の観点から本サイトの可能性を探ります。

1. 自主調査の方法：上記①のアンケートサイトの一部に自主調査項目を含ませていただく予定です。
2. 自主調査の目的：タクシーをはじめ、今後のさまざまな「のりもの」の複合経路検索及び予約・決済機能の実装に向けて知見を高めます。
3. 自主調査の期間：上記①と同様の期間を予定しております。

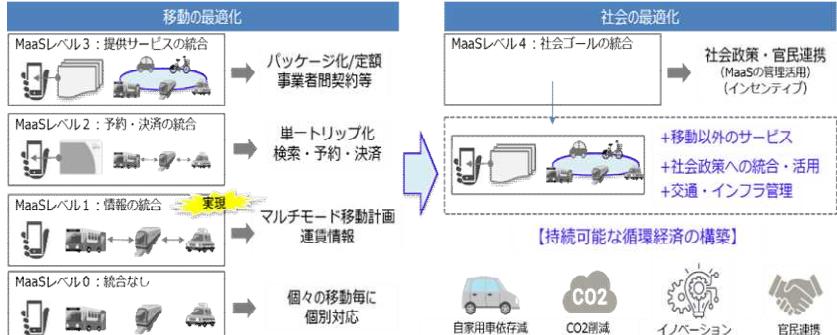


③OKICA MaaSについて

【MaaSとは】



【MaaSレベルと社会課題解決イメージ】



沖縄の皆様と創りあげていく「のりものNAVI Okinawa」。MaaSレベル1を実装し、今後はさまざまな情報のポータルサイトとしても機能拡張を予定しております。また商業店舗でのOKICA利用を実現するシステム開発も大詰めを迎えておりOKICA決済サービス加盟店を募集します。OKICA MaaSプロジェクト、いよいよ本格始動です！

データを活用したバス利用の促進に関する実証調査(令和2年度)

- 県内で唯一、複数事業者による路線バスのリアルタイム運行情報を提供している「バスなび沖縄」について、活用状況や利用者の声を収集・分析することで、利便性の向上およびバス利用促進に向けた改善方策を検討整理する。
- 「OKICA (IC乗車券)」の運営主体である沖縄ICカード株式会社の自主事業「OKICA MaaSプロジェクト」と連携することで、その第一弾となるバスなび沖縄のリニューアル版「のりもの NAVI okinawa」に対し、上記で検討された検索性・視認性・操作性の向上など、バス利用を促進する各種改善方策の実装を行っていくとともに、アンケート調査等によってその効果を検証する。

バス運行情報提供によるバス利用環境の改善 (本実証調査)



沖縄県：バス・モノレールの輸送人員と自動車保有台数の推移

